

## ～思いやりを感じた体験～

私が子どもの頃、時々、家族で電車を利用して出かけることがありました。父と母は車内で座っていても混んでくると、必ず後から乗ってきた高齢者に席を譲っていました。その時の両親と高齢者のやり取りの様子と笑顔は、私の心にずっと残っていました。時間が経ち、学生になった私は、電車で通学するようになりました。幼い時の記憶からか、高齢者が乗ってくると自然と席を譲る自分がいました。席を譲るととても清々しい気持ちになり、両親が笑顔になる意味がなんとなく分かった気がしました。

その後、私は保育士になり、2歳児クラスの担任になりました。私が受け持ったクラスに新入園児のAさんがいました。Aさんは初めての園生活のため、母親と離れることが不安で、入園してしばらくの間、泣いて過ごしていました。毎朝、保育士に「ママがお仕事に行って悲しいね」と悲しい気持ちを受け入れてもらい、涙と鼻水でくしゃくしゃになった顔を優しくティッシュで拭いてもらっていました。そのようなことが続いたある日、母親との離れ際に泣いていたAさんが、隣で同じように「ママがいい」と泣いているBさんの姿に気が付きました。Bさんを見て泣き止んだAさんは、自分のロッカーからティッシュを1枚取り出し、「あの子のお顔、拭いてあげて」と私に手渡してきました。Aさんは、毎朝、保育士が悲しい気持ちに寄り添って涙を拭いたことで、少し心が落ち着き、少し安心することができるようになっていったのだと思います。そして、その経験が同じように悲しい思いをしているBさんに対して、「自分はこうしてもらって落ち着いたよ。だから、してもらおうといいよ」という行動につながったのだと思います。わずか2歳の子が、同じように泣いている子の気持ちを察し、何とかしてあげたいと思ったこの行動に、私は驚きと感動で胸がいっぱいになりました。現在、Aさんには子どもがいると聞きました。きっと、思いやりあふれる家庭を築いていることでしょう。

思いやりの心を育むためには、「こうなさい」と教えるのではなく、大人が手本になる行動をしたり、気持ちに共感したりすることが大切だと思います。子どもの身近にいる私たち大人が、思いやりのある接し方をするよう心がけ、子どもと一緒に思いやりの心を育てていけるようにしていきたいです。



一人で悩まないで、まず相談を

- ・刈谷市 子ども相談センター ～子どもに関する相談の総合的な窓口～  
月～土曜 9時～17時（国民の祝日・年末年始を除く）

電話相談・来室相談

☎0566-62-6313

- ・刈谷市 青少年電話相談 月～金曜 9時～17時

☎0566-23-8888

- ・愛知県 教育相談こころの電話 10時～22時

☎052-261-9671